

所属	感想等
市民会議委員	今井さん孤立しているのではないかと話合いの内容はどのように決まっているのか？組み立てについて、市民の中から運営委員が必要ではないのか？
	市民会議メンバーの意見交換が必要だと思う。 将来につながる視点から条例を考えていく必要あり。
	各論に入る前に、「自治」について委員の中で深める必要があると思う。個人的には「新城は地区の自治を互いに尊重し認めあう」という文化が基本でよいと思う。 自治区創設を契機として全く新しくまた現在ある組織を尊重したシステムができるとう。
	話し合いの中で進むほど、課題が多くなる。今一度ひとつのテーマに対して、いろいろな地域性があるので、多様に考えられる、第1市民が作り参加するものに近づけたいですね。 意見は賛否両論で大変良いことです。
	施行後の実効性からの逆算すると行政区組織を縦系、各種団体(市職員を含む)を横系に編み込むのが効率が良いと思う。 米子市の条例の中に公民館を拠点に位置づけているのが注目される。そうありたいと思う。 地区のまとまりと地域の融合が市民力と思う。 国交省の「みちぶしん」というミュージカルのメディアを入手してください。自治の原点があります。
	6月12日の「カフェ」にどれだけの参加者があるかととても不安です。知り合いに声をかけ広げて生きたいと思っています。
	まちづくりカフェ(6/12)では「今までの様々な計画作りとは違った進め方を新城市はしようとしている」ということが参加者に伝わればいいのかなあとと思います。 地域に出て行くときに、市民委員は「みんなの話をきいて条例案づくりに参考にさせてもらおう」というスタンスをきっちり守ろうね！と確認しあえたらいいのかなあ。
	住民への関心をどのように高めるか大切である。機会あるごとにミニ講座を開いて自治条例とはなんぞやということやを伝える手段を考える。 個別のテーマについてはこの場で議論するべきでない。
	今後の問題、市民との話し合いの場作りと意見の集約をいつするか(時期)⇒条例への生かし方。 市民会議の方々のお顔が見えず、ちょっと壁を感じました。 親睦会(ワイワイ会議)が必要と思います。
	今回初めて参加しましたが、この会議自体の目的が全体で共有されていないのではないかと感じた。この状況のままより多くの市民の声を聞きにいても、聞かれた市民がより混乱するのではないかと？
傍聴者	自治基本条例をこれからの新城市にとって絶対必要と考え、積極的に取り組むことを願う市民と「なぜ今自治基本条例が必要なのか」分からないし、関係ないとする市民、市内の(市民)温度差を感じます。この状況が一般市民の中だけでなく行政に携わる方たちも、議員の中にもあることはこれから取り組んでいくことに大きな問題ではあります。 「必要である」という方々の声が市内(市民)に広がっていくことが今一番大事であると考えます。 今井先生がとても真剣に取り組んでくださる姿勢に新城市民としてうれしく思いました。
	地域へ出向かれる際には、参加者として混ぜていただきたいと思いました。 市議会ではどのような関わり方をさせていただくべきなのか非常に考えさせられます。 ありがとうございました。
	委員は熱気が上昇してきた。 市職員、地域担当職員も同じ気持ちになっているかなーと思いました。 (市職員が少ない)
	こうした話し合いが自治基本条例にどういう意味があるのかを6月12日に行われる「まちづくりカフェ・新城」までに委員の方たちの腹に落としておく必要があるように思われます。 自治基本条例とは何かを6月12日のイベントの前にもう1回話し合いが取ればよいと思うのですが、実践者の話を聴く機会もほしい。
短くない会議時間の中で熱心に議論される市民の方々には頭が下がります。 どのように多様な市民意見を聴取する方法について、行政もフォローすべき役割も大いにあろうと思います。 次のカフェでは、意識の高い市民と参加した市職員とが有意義なお話ができたら幸いです。	